

令和7年度新任式を行いました

今年度から高橋 実校長先生を始め、12名の先生方をお迎えしました。様々な学校で得られた経験を出雲工業高校で発揮して下さることと思います。



令和7年度1学期始業式を行いました

校長先生からは、みんなに平等にあるものとして「人権」と「時間」についてお話をされました。自らの権利と時間を大切にするとともに、他者の権利と時間を大切にすることは義務であるとも話されました。権利の行使とともに義務を果たすことの大切さと、他者の権利を損なうことは決してしてはならないとお話されました。

始業式のあとは教頭先生より、担任、学年主任、科長、部長の紹介がありました。春休み中に全国大会で活躍した部活動の報告会と表彰式も行われました。



式 辞

おはようございます。春休みも終わり、いよいよ新年度がスタートします。今年度も可能な限り、生徒の皆さんが様々なことに挑戦できるように環境を整えていきたいと思えます。先ほど、新しい先生方をお迎えしました。さらに、明日の入学式では142名の新1年生を迎え全校生徒409名の出雲工業高校がスタートします。新年度の始めに、2年生、3年生の皆さんには、今一度、初心に戻り、入学当時の少しの不安と大きな希望に満ちた、新鮮な気持ちを思い出してほしいと思えます。

今日は、この1年間、様々なことに取り組む時に、心にとめておいてほしい「平等」の話をします。皆さんは、この世に「平等」が存在すると思えますか。また、存在するとしたら、どんな「平等」があると思えますか？私は、かつて部活動の恩師から、以下のように学びました。この世に存在する「平等」は、2つしか存在しない。その一つは「人権」＝ 言い換えると「権利」となります。この「権利」は 日本国憲法によって、すべての日本国民に等しく保障されています。現在、出雲市では市議会議員選挙が公示され、18歳以上の出雲市民であれば 選挙権という「権利」が等しく与えられています。その他、教育を受ける権利や生存権なども 同様に等しく与えられている「権利」であることは、授業でも学んだと思えます。皆さんは、この「権利」を うまく行使していますか、うまく使い込んでいますか、 今一度考えてみてください。

もう一つの平等は何か、それは「時間」です。例えば、出雲工業高校サッカー部の一日も 高校サッカ

一選手権を制覇した前橋育英高校サッカー部の一日も 等しく24時間が与えられています。前橋育英サッカー部の「時間」と出雲工業サッカー部の「時間」には どんな違いがあるか想像してみてください。

皆さんには これらの「権利」と「時間」について、この一年間 「こだわりを持って」過ごして欲しい。「こだわりを持つ」というと難しく聞こえますが、言い換えれば「大切に使う」とか「無駄使いしない」ということになります。自分の「権利」を大切にすることで、仲間の「権利」も同じように考えることになるでしょう。自分の「時間」を大切にすることで、仲間の「時間」を尊重するようになるでしょう。

仲間の「権利」と「時間」を大切にすることを「義務」と言い換えることができます。このバランスの良さをみんなで高めていきましょう。自分の「権利」や「時間」大切にすることに加え、仲間への「義務」を果たしていくことを今年度の取り組みで意識してください。

3年生のみなさん。進路実現に向かう最終学年となります仲間と過ごす「時間」こそ、人生の原動力となります

2年生のみなさん。中堅学年として大いに成長する年となります仲間への「義務」を果たしていきましょう

皆さん一人ひとりが、この1年間、お互いを大切にし、支え合い、様々なことにチャレンジする年になることを期待して1学期始業式の式辞とします